

科目名		授業形態	担当教員名	
地域理学療法学総論		講義・演習	酒巻 直美	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（1 単位）		15 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
現在の保健・医療・福祉の制度や動向の変化は著しく、地域リハビリテーションの地域理学療法分野においても大きく変化している。本講義では諸制度や関連機関との多職種連携を学び、地域理学療法分野に必要な知識の習得と、主に生活期の理学療法士の役割について理解することを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 地域リハビリテーションと地域理学療法にかかわる知識を習得する。2. 様々な制度を理解し、諸制度下での理学療法について説明できる。3. 生活期の理学療法について説明できる。				
授業計画				
回	内容			
1	地域リハビリテーション総論			
2	障害と生活の理解(1)：生活とライフステージ			
3	障害と生活の理解(2)：高齢者			
4	地域理学療法の視点(1)：生活期の捉え方			
5	地域理学療法の視点(2)：多職種連携			
6	地域理学療法と制度(1)：介護保険			
7	地域理学療法と制度(2)：障害者総合支援法 地域包括ケアシステム			
8	地域理学療法の実践(1)：介護予防			
9	地域理学療法の実践(2)：入所系サービス			
10	地域理学療法の実践(3)：通所系サービス			
11	地域理学療法の実践(4)：訪問系サービス			
12	地域理学療法の実践(5)：介護老人保健施設			
13	地域理学療法の実践(6)：認知症の症状と対応			
14	課題ワーク			
15	まとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	40%			
レポート				
小テスト	40%	課題提出		
平常点	10%	授業態度（居眠り・忘れ物含む）		
その他	10%	講義録の提出		
自由記載	講義録や課題の提出については指示を守ること			
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載	随時プリントを配布する。必ず講義録をファイルにまとめること。			
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
図書（地域理学療法学、地域リハビリテーション学）多数図書室に有り				
自由記載				
備考				
不明な用語や漢字は適宜電子辞書で調べること				